

Library Lovers'キャンペーンに関するアンケート集計結果

九州大学附属図書館

実施期間： 平成 25 年 3 月 26 日（火）～4 月 5 日（金）

実施方法： web によるアンケート（協議会加盟館メーリングリストにて依頼）

回答数： 37 件

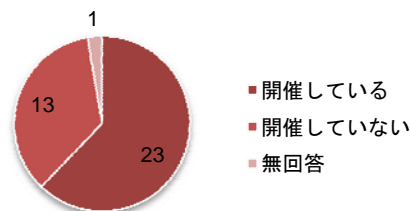
1. 貴館名をお書きください

（省略）

2. 本キャンペーン以外に、貴館で図書館利用促進・読書推進を目的としたイベントを開催していますか？

| | 回答数 | 割合 |
|---------|-----|-------|
| 開催している | 23 | 62.2% |
| 開催していない | 13 | 35.1% |
| 無回答 | 1 | 2.7% |

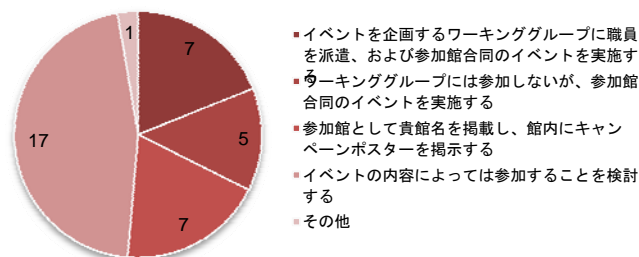
計： 37



3. 来年度以降、どのような形態であればキャンペーンに参加可能ですか？

| | 回答数 | 割合 |
|---|-----|-------|
| イベントを企画するワーキンググループに職員を派遣、および参加館共同のイベントを実施する | 7 | 18.9% |
| ワーキンググループには参加しないが、参加館共同のイベントを実施する | 5 | 13.5% |
| 参加館として貴館名を掲載し、館内にキャンペーンポスターを掲示する | 7 | 18.9% |
| イベントの内容によっては参加することを検討する | 17 | 45.9% |
| その他 | 1 | 2.7% |

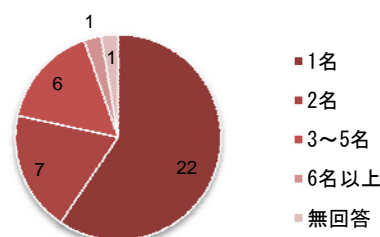
計： 37



4. キャンペーンに参加する場合、貴館での実施に携わることのできる職員は何名いらっしゃいますか？

| | 回答数 | 割合 |
|------|-----|-------|
| 1名 | 22 | 59.5% |
| 2名 | 7 | 18.9% |
| 3～5名 | 6 | 16.2% |
| 6名以上 | 1 | 2.7% |
| 無回答 | 1 | 2.7% |

計： 37



5. 来年度以降、より多くの図書館にご参加いただきたいと考えています。貴館でキャンペーン参加の障壁となっていることがありましたらお書きください。

| |
|---|
| 職員数の不足により、取組み参加が困難 |
| スタッフが少ない。 |
| 人員の不足 |
| 蔵書点検の時期と重なる。また、H25年度は新図書館設計、図書館システム切替時期と重なる。 |
| ・対応職員の数・twitter、facebook等を使用できる職員がいない・時期（大学祭と重なりと館内の掲示スペースを確保できない可能性がある |
| 職員数が少なく業務過多であるため、キャンペーンに参加する余裕がない。 |
| 人員不足 |

| |
|---|
| 23年度まではキャンペーンに参加し、イベントも色々数多くと行ってきましたが、24年度以降は、人材・人員不足で最低限の事業しかできません。25年度はより厳しい状況になります。 |
| 業務負荷、中央館改修(H25年度に限る) |
| 場所、時間(来年度は図書館改修の予定です。それに伴い図書館も規模を縮小し別の場所に移ることになります。) |
| 予算、人員 |
| 人員不足 |
| 時期的にイベントが多く、キャンペーン準備に時間を割くのが難しい。今年度については、担当者の繁忙期とキャンペーン準備・実施時期が重なった点が障壁となった。 |
| 職員数が少ないため、なかなか参加できない。 |
| 業務委託をしており、専任職員が少ないため |
| 図書館職員が少人数のため、参加協力は困難と考えます。 |
| 自館が行う行事等の充実に重点を置いているので、館外の行事へ協力が困難と考えている。 |
| 職員への周知が難しい。学生についても関心を引き寄せるのが難しい。キャンペーンに注力する人手がない。 |
| 参加図書館の貸出冊数の集計作業に関し、利用ソフト(リコーのLIMEDIOとNTTデータのNALIS)の違いにより、書誌データの抽出方法が異なり、集計結果を統一することに大変苦慮いたしました。 |
| 職員の人数が少ない予算がない |
| (「特になし」を除く) |

6. Library Lovers' キャンペーンに関して、その他ご意見等ありましたらお書きください。

| |
|---|
| 来年は、Facebookでの参加・広報も行いたいと考えております。 |
| このキャンペーンを通し、読書推進活動を楽しんでできればと考えております。今年は大失敗と言っているほど図書館でも活動がうまくできず、ほとんどコメントが集まらない悲惨な状況でした。読書習慣のない学生でも参加したくなるような楽しいものになるよう、当館でも少しでも時間をかけ、工夫ができればと思います。そのためにも日々の図書の選書やコミュニケーションを大切にしていきたいです。 |
| 非常に勉強になりましたので、可能な限り参加させていただきます。 |
| これまでPOP募集の企画を多く行ってきたが、このPOPをもっと有効活用できるような九州全体の仕組みがあればいいと思う。(各年ごとで企画が終わっているため、当年のみしかPOPが生かされていない) |
| 厳しい辛い状況ですが、出来る限り参加に努めます。 |
| 今年度の九州文学地図はコメント集めに苦労した。本・読書に親しみのない学生も一緒に盛り上げられる企画にしたらもっとよくなると思う。 |
| 業務に余裕がなくなかなか参加できず申し訳ございません。出来る範囲で協力させていただきたいと思っております。 |
| 他大学の事例(館内ワーキンググループのたち上げ、広報等)を共有する機会があるとよいのではないかと思います。企画については、学習支援につながるもの(レポート作成関連等)も実施してみたいと感じました。 |
| ここ2年参加させていただきました。ウェブでの参加は今年が初めてでしたが、なかなかのプレッシャーでしたが、よい刺激になりました。ワーキンググループには人員的に参加できませんが、次年度もがんばって、参加しようと思います。 |
| 理系の学生でも参加しやすいテーマのキャンペーンを企画していただけると嬉しいです。 |
| 昨年はワーキンググループとして参加させていただき、色々勉強させていただきました。しかし、なかなかきちんと協力が出来ず申し訳ありませんでした。今年もよろしくお願いします。 |
| 昨年のコメントは難しく感じたので、参加しやすいテーマだとより良いと思う。 |
| テーマによって利用者の反応の仕方が変わるので、日頃から良く利用する利用者層とこのイベントをきっかけに新たに来館を期待される層の双方に関わるテーマ作りができればと思う。 |
| ワーキングメンバー、特にリーダーの負担が大きすぎる。最初のミーティングを除いてメール会議で進められたが、メールだけでは連携が難しいと感じた。準備期間の途中で再度顔を合わせてのミーティングができると良い。 |
| キャンペーン期間中は、学生の多くが学外実習期間であり、本学での効果はあまり期待できません。 |
| 今回、本キャンペーンに参加させていただいたことにより、学生の図書館利用促進・読書推進に対し、利用者のニーズやよりよいサービスを提供するために何をすべきかを改めて見直すきっかけになりました。また、職員同士で作業する過程で、展示制作や情宣活動の難しさを痛感しました。昨年の経験を踏まえ、今後も本キャンペーン実施の際は積極的に参加し、他大学との情報交換や事例研究を通じて、本学図書館における諸企画の活性化に繋がりたいと思います。 |
| (「特になし」を除く) |